

【講義の日時と内容】

e 印のついた講義については、eラーニングを実施するものです。 なお、無印の講義につきましても、eラーニングコンテンツの準備が出来上がれば、eラーニングが実施される可能性があります。そのため受講の前に必ずこのページでeラーニング実施の有無を確認し、さらに不詳の点については、講義担当教員に問い合わせてください。

なお、eラーニングのマーク表記については、下の「eラーニングの分類に関する説明」を参照してください。

講義番号 e マーク	日時・時限	講師	講義内容
1.	6月 8日(月)6時限	赤池 孝章	病原微生物と感染症
2. eJ-L	6月 15日(月)6時限	赤池 孝章	感染症と宿主反応 1
3.	6月 22日(月)5時限	赤池 孝章	感染症と宿主反応 2
4.	6月 29日(月)5時限	原田 信志	ウイルス感染の分子病態 I
5.	7月 6日(月)5時限	前田 洋助	ウイルス感染の分子病態 II
6.	7月 13日(月)5時限	遊佐 敬介	ウイルス感染の分子病態 III
7.	7月 24日(金)6時限	滝口 雅文	感染症と宿主の免疫応答
8.	7月 27日(月)5時限	上野 貴将	HIV に対する細胞性免疫応答
9.	8月 3日(月)5時限	上野 貴将	感染症に対するワクチン開発
10.	8月 17日(月)5時限	満屋 裕明	HIV-1 感染症と AIDS の治療
11.	8月 24日(月)5時限	宮川 寿一	新興・再興感染症とそれへの対応
12.	8月 31日(月)5時限	川口 辰哉	院内感染と日和見感染症のコントロール
13. eJ-L	9月 7日(月)5時限	吉村 和久	HIV に対する液性免疫応答
14.	9月 14日(月)5時限	松下 修三	HIV 感染症の病態と治療 I
15.	9月 28日(月)5時限	松下 修三	HIV 感染症の病態と治療 II

【参考】シラバス 19 ページ抜粋

2) eラーニングの分類に関する説明

eラーニングによる講義については、eE-0, eE-L, eJ-0, eJ-L, eEJ-0 および eEJ-L の 6 種類が、ありますので注意してください。

eラーニングコンテンツに利用されている言語による分類

eE：英語で作成された eラーニングコンテンツ

eJ：日本語で作成された eラーニングコンテンツ

eEJ：英語と日本語を混ぜて作成された eラーニングコンテンツ

eラーニングコンテンツの講義への利用法による分類

-0：対面講義を実施することなく、eラーニングでのみ開講する講義

-L：対面講義が主体で講義を受講できない学生に対して、補講として eラーニングの受講を認める講義

日本語の eラーニングコンテンツしか利用可能でない、eJ-0 および eJ-L の講義については、履修生に日本語を理解できない留学生がいる場合には、英語 (+ 日本語) による対面講義が実施されます。この対面講義は収録されて、将来 eE あるいは eEJ として利用されることがあります。

eラーニング分類の例示

eJ-L とは、対面講義を受講することを原則とするが、受講できない場合は、日本語で作成された eラーニングコンテンツを補講として受講できる講義を意味します。なお、履修生に日本語を理解できない留学生がいる場合には、対面講義は英語 (+ 日本語) で実施されます。